

# 生ごみ・剪定枝や草の

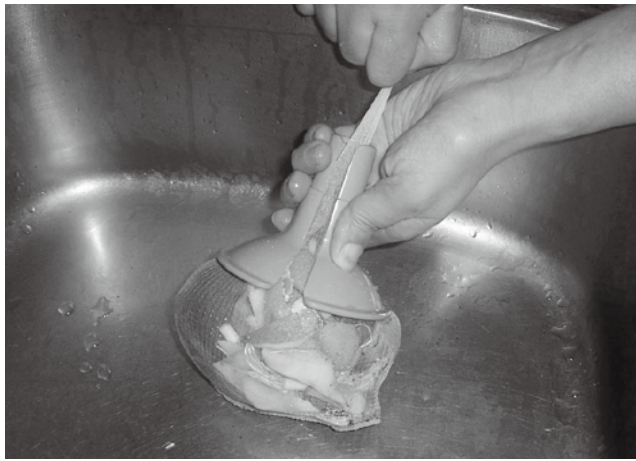
## ごみ減量について

### 生ごみは多くの

#### 水分を含んでいます

生ごみは水分を多く含むため重量があり、また腐敗すると悪臭を発生します。生ごみの水分量は70〜80%とわられています。

生ごみの水切りをすると悪臭を防止できるほか、ごみの容量が減り、ごみ袋(市指定袋)の枚数を減らしたり、サイズを小さくすることができます。



### 【生ごみの減量方法】

生ごみにしない

生ごみを出さない工夫をしましょう

● 買物に行く前に冷蔵庫の中身を確認する

● 食べる量を考えて献立を決める

● 冷蔵庫の中にあるものだけで料理する日を作る

ぬらさない

● 無駄にぬらしていませんか？

● 基本は「最初からぬらさない」ことです。野菜などは使えない部分を始めて分けてから洗いまししょう

水切りをする

● 悪臭・腐敗防止にもなります

● ゴム手袋を使用して直接水切りする

● すぐに捨てずに三角コーナーなどに入れて一晩おいてから捨てる

● 市販の水切りグッズなどを活用する

### 【生ごみの水切り器を

無料でお渡しします】

安中市環境保健自治団体連合会では、令和2年6月1日から生ごみの水切り器を、市内在住の世帯を対象に無料でお渡ししています。ご希望の人は環境連事務局☎環境政策課または☎



総務管理課)までお越しください。なお、数に限りがありますので、終了の際はご了承ください。

### 【剪定枝や草の減量方法】



▶ 乾燥前の草



袋を開けて乾燥させている様子



▶ 乾燥後の草



市指定袋の貼り付け方

◎ 剪定枝や草も多くの水分を含んでいます。

「剪定枝や草」を乾燥させるだけでも、15〜60%もの減量になると言われています。

水分を多く含んでいると、焼却時に多くのエネルギーが必要となり、処理経費が多くなってしまう。

● 剪定枝や草は、すぐに出さずに土を落として乾燥させましょう。

● 天日干しできない場合でも、袋を縛らずに開けておくだけで減量できます。

### 【剪定枝を

#### ごみステーションに出す場合】

長さ50cm以下、太さ5cm以下のものはごみ袋(市指定袋)に入れるか、困難な場合は袋に入る程度の量でしぼり、ごみ袋(市指定袋)を貼り付ければごみステーションへ出すことができます。(一度に大袋5袋まで)。

長さ50cm、太さ5cmを超えるものは粗大ごみ扱いとなりますので、直接確氷川クリーンセンターへ持ち込んでください。

※処理料金…総重量から50キログラムを差し引いた重量10キログラムにつき165円(税込み)(50キログラムまで無料)